

## 拠点5 清瀬市子どもの発達支援・交流センター（とことこ）

### 1. 運営方針・目標

清瀬市子どもの発達支援・交流センターは、「地域と連携・交流しながら地域にくらす親子をささえる」を基本理念として、受託を受けた社会福祉法人嬉泉が長年にわたり培ってきた実績に基づく理念「受容的交流理論」を取り入れ、心身の発達に遅れやかたよりのある子ども、さらに社会生活上何らかの問題を持つ子どもの相談・訓練指導を通して成長・発達を援助し、地域での育ちを支えることで誰もが生きやすい「地域共生社会づくり」の実現を目的とする。

0歳から18歳までの子ども本人や家族だけではなく、関係者への支援をする等、地域の支援力の向上に努めると共に、相談・療育・支援の場の提供だけではなく、地域療育の拠点となることを目指す。2022年度からの5年間、清瀬市からの指定管理を受けているので、今期としては最後の年度となる。

上記の運営方針のもと、今年度も昨年に引き続き主として以下の取り組みに力を入れ質の向上に努め運営していく。

#### 1) 相談支援の充実・強化

教育現場での特別支援教室利用児の増加に伴い発達のアセスメントを求めている利用も増えている。知能検査、心理検査や言語検査など必要に応じてより多角的なアセスメントを展開していく必要があると考える。そのことで学校・地域への引継ぎ、療育の展開の上でより特性に即した支援につながる。

相談支援の一環として保護者への支援は切り離すことができないことを念頭に保護者自身が社会資源を有効に活用できる力をつけてもらう。

「センター機能」の強化として学校、保育園、幼稚園との連携を密にし、支援者の支援力向上に寄与し機関全体の支援力向上のための育成を行っていく。

ここ数年は新規の相談は、夏休み前・明け、秋口、年度末など所属先との面談、行事などがある月は30件ほどの申し込みがあり、それはここ数年変わらぬ傾向である。

#### 2) 療育体制の充実

センター内の機能を職員間で共有する時間を「会議」という枠内だけでなくスタッフ間で持つことで様々なケース事例への学びにつなげ、多角的な視点を持つ。処遇として療育につながるそうした一つひとつのケースの利用児の特性、背景の理解、療育の目的についてセンター全体でカンファレンスすることがより充実した療育や保護者支援につながると考える。

### 3) 家族支援の充実

グループ療育・児童発達支援事業に並行して保護者へのペアレントプログラム（3 グループ×3 回）・保護者面談を実施し家族支援の充実に努める。

### 4) 地域支援

地域への研修として年 2 回とことこ講座を開催している。例年 100 人規模で開催していた講座ではある 2025 年度には、「偏食」「睡眠」という生活に身近なテーマを発達に課題のある子どもたちに寄せて WEB での講演を行った。

2026 年度の計画としてもより身近な講座として幼稚園、保育園、学校のお力を借りながら開催したいと考えている。

2022 年度からは“発達”の理解、そしてその先の“対応”を考えるきっかけとするためにも各園の保護者を対象とした出前講座を保育園での実施に至った。2026 年度も引き続き実施を考えていきたい。

また、保育園・幼稚園の先生方に向けて巡回相談支援（保育園 9 園/幼稚園 6 園 平均年 3 回）を行っている。地域における支援力の向上に伴い、より専門性の高い巡回指導が求められる。多職種でのチームアプローチを組み込み、多角的なアセスメントにつなげさらなる支援力の向上につなげていく。その一方で基本的なことではあるが子どもの発達の見立て等、巡回の振り返りでは扱いきれない事項を学習会として取り上げ、質の向上に寄与する。

就学後の課題に対しては通常級での環境調整や特別支援教室の利用での対応は大きな比重を占めている。その一方で学習障害（LD）の理解や対応等、より専門的知識を必要とされるところに対してセンター職員の専門性をどう活用してもらうか、という点で先生方に向けた発信の必要性を感じており、長期休暇を活用してセンター内で研修の場を提供していきたい。

公用車リース更新のタイミングで車種の変更を行った。カーナビ等の実装で運転しやすさにつながり、職員の運転へのハードルが下がった感がある。そうした足の気軽さが支援への身軽さにつながってほしいと考える。

### 5) 児童発達支援事業

小集団生活と遊びの中で利用児の発達段階に沿った様々な経験を積み重ね、日常生活に必要な能力をはぐくみ社会で生活する基本的な力をつけていくことを大きな療育方針とする（定員 20 名）。

所属園との並行利用児が増えている中で、今まで以上に所属園との連携を密におこない、園生活での過ごしやすさ、成長につなげていく。児童発達支援事業利用児の人数は変えず、4 月のスタート時点から小集団を意識した療育につなげていくこと、所属園との連携を密（見学・会議）にすることを目的に週 1 日地域連携日とする。地域支援への関わり、相談

の陪席なども視野に入れることで人材の育成にもつなげる機会としたい。

利用児の支援と並行して保護者支援も大切に行う。発達特性、わが子への対応についてペアレントグループを通して他児の保護者と一緒に考えていく。次のステップである就学に向けては先輩保護者との交流を通して悩みや思いを共有できる場（保護者交流会）の提供を行っていく。

#### 6) 指定特定相談支援事業

2025年度は計画案の作成は幼児16名、モニタリングに関しても同数扱っている。今後もこの人数での推移を想定しているが、相談支援専門員の育成は急務と考えている。

#### 7) 人材育成

上記事業の継続、質の向上に向けて人材育成は必須である。それぞれの事業内での陪席、SVを中心に様々なケースにおいて子どもの発達を見立てる力をつけ、利用児の理解、対応、支援を考えていく。同時に保護者を含めた環境への支援の調整や必要性をも見立てていく。ケース会議・事例検討会を毎月2回開催。事例提供の機会は一人年間2、3回の発表の機会があるようにしたい。

一人ひとりのケースによって支援の方法は異なるわけであり、柔軟な思考や、多職種・他機関との連携についても知識が求められる。実践を通して学ぶべきこと、研修（下記4参照）を通して身に着けることなど、職員一人ひとりにあった育成を法人の育成システムと照らし合わせて行っていく。

言語に関する相談も多く、言語聴覚士での支援が必要なケースのためにも言語聴覚士の確保（1名）は必要である。

#### 8) 業務の負担軽減によって支援の充実への時間の確保

マックスハブ導入によって事業所内会議、事例検討会、ペアレントグループの記録がホワイトボード機能を活用でき記録の手間を軽減できた。

支援において記録は大変重要なものであるがゆえにないがしろにはできない。そのためのシステム導入を検討していき、清瀬市とも協議していきたい。

#### 9) 関係機関・行政との密なコミュニケーション

療育、児童発達支援事業の中で子どもだけの支援では収まり切れない困難さを抱えているケースは増えている実感を持つ。所属園、所属校だけでなく市内の関係機関（行政含め）との連携は必須である。清瀬市主催の様々な会議への出席を通して顔の見える関係、コミュニケーションの取りやすい関係にしていくことは今後も求められるし、その必要性を感じている。障害福祉課とは、とことこの支援の幅、質について意見交換の場を設けていく必要性を感じている。

## 2. 月間・年間予定

別紙のとおり

## 3. 職員体制

組織図添付

## 4. 職員研修

- ・ ケース検討会等のセンター内研修（年20回程度）
- ・ 法人の各種研修への参加
- ・ 外部研修への参加（各自年間に最低1回：予算の範囲）
- ・ 各自の専門性における研修への参加
- ・ ケースの陪席
- ・ 巡回同行・支援会議同行

## 5. その他（建物改修、設備・備品等購入等）機器等 必要に応じて購入予定

- ・ パソコン（経年劣化・利用目的に合わせるため） 3台
- ・ 療育のための備品（本・玩具）
- ・ 無線LANの導入の検討
- ・ 光回線の見直しの検討
- ・ 電子カルテの導入の検討
- ・ 17年目となった建物の経年劣化による修繕、設備改修

## 年 間 行 事 等 実 施 計 画

| 項目<br>月 | 行 事 |                                                         |   |                                | 職員研修・職員会議等 |                     | 災害訓練 |      | 健康管理・衛生管理 |                | そ の 他 |                   |
|---------|-----|---------------------------------------------------------|---|--------------------------------|------------|---------------------|------|------|-----------|----------------|-------|-------------------|
|         | 日   | 内 容                                                     | 日 | 内 容                            | 日          | 内 容                 | 日    | 内 容  | 日         | 内 容            | 日     | 内 容               |
| 4月      |     |                                                         |   |                                |            | 相談・通園支援スタッフ会議、運営会議等 |      |      |           | 職員健康診断<br>(随時) |       | 法人事業参加 (随時)       |
| 5月      |     | ペアレントグループ<br>Ⅰ-①<br>ペアレントグループ<br>Ⅱ-①<br>巡回<br>29 保護者交流会 |   | 母子グループ、年長グループ<br>小1グループ、小5グループ |            | 相談・通園支援スタッフ会議、運営会議等 |      |      |           |                |       | インターンシップ受け入れ (随時) |
| 6月      |     | ペアレントグループ<br>Ⅰ-②<br>巡回                                  |   | 母子グループ、年長グループ<br>小1グループ、小5グループ |            | 相談・通園支援スタッフ会議、運営会議等 |      | 避難訓練 |           |                |       |                   |
| 7月      |     | ペアレントグループ<br>Ⅰ-③<br>27 巡回<br>保護者会 (通園)<br>3 センター講座      |   | 母子グループ、年長グループ<br>小1グループ、小5グループ |            | 相談・通園支援スタッフ会議、運営会議等 |      |      |           |                |       | 実習生受け入れ           |
| 8月      |     | ペアレントグループ                                               |   | 母子グループ、年長グループ                  |            | 相談・通園支援スタッフ会議、運営会議等 |      |      |           |                |       |                   |

|     |    |                                                     |  |                                |  |                     |  |      |  |  |              |
|-----|----|-----------------------------------------------------|--|--------------------------------|--|---------------------|--|------|--|--|--------------|
|     |    | I -④<br>市内幼稚園教諭研修                                   |  | 小1グループ、小5グループ                  |  |                     |  |      |  |  |              |
| 9月  |    | ペアレントグループ<br>III -①ペアレントグループII -②<br>巡回             |  | 母子グループ、年長グループ<br>小1グループ、小5グループ |  | 相談・通園支援スタッフ会議、運営会議等 |  |      |  |  | 職場体験受け入れ（随時） |
| 10月 |    | ペアレントグループ<br>III -②ペアレントグループII -③<br>巡回             |  | 母子グループ、年長グループ<br>小1グループ、小5グループ |  | 相談・通園支援スタッフ会議、運営会議等 |  |      |  |  | 法人バザー        |
| 11月 |    | ペアレントグループ<br>II -④ペアレントグループIII -③<br>巡回<br>市内保育士研修会 |  | 母子グループ、年長グループ<br>小1グループ、小5グループ |  | 相談・通園支援スタッフ会議、運営会議等 |  |      |  |  |              |
| 12月 |    | ペアレントグループ<br>III -④<br>巡回、保護者会（通園）                  |  | 母子グループ、年長グループ<br>小1グループ、小5グループ |  | 相談・通園支援スタッフ会議、運営会議等 |  |      |  |  |              |
| 1月  | 25 | 巡回<br>センター講座                                        |  | 母子グループ、年長グループ<br>小1グループ、小5グループ |  | 相談・通園支援スタッフ会議、運営会議  |  | 避難訓練 |  |  | 内定者懇親会       |

|    |  |          |  |                                |                     |  |      |  |  |                       |
|----|--|----------|--|--------------------------------|---------------------|--|------|--|--|-----------------------|
| 2月 |  | 巡回       |  | 母子グループ、年長グループ<br>小1グループ、小5グループ | 相談・通園支援スタッフ会議、運営会議等 |  |      |  |  |                       |
| 3月 |  | 保護者会（通園） |  |                                | 相談・通園支援スタッフ会議、運営会議等 |  | 避難訓練 |  |  | まとめの研修<br>新人研修、そなえの研修 |

事業拠点組織図(清瀬市子どもの発達支援交流センター（とことこ）)

